



関空島

WEATHER REPORT

9月号
2026年

ご利用の前に
この内容には、航空気象で利用する用語や、観測で使用する機器等の略語がでてきます。これらの解説を巻末に掲載していますので適宜ご利用ください。

関空島の8月のピックアップ

航空気象観測測器（滑走路視距離観測装置）の紹介

- 滑走路視距離(Runway Visual Range = RVR)観測装置とは

航空機が安全に離着陸するためには、パイロットが滑走路や灯火などを視認する必要があります。パイロットから滑走路や灯火が確認できる距離を滑走路視距離といい、英語の Runway Visual Range を略して RVR と呼びます。RVR は、滑走路横に設置された滑走路視距離観測装置で観測しており、航空機の離着陸の可否を判断する上で非常に重要な情報です。

RVR 観測のためには、

- ①現在の大気の散乱度合い ②周辺の明るさ ③滑走路灯火の光度設定

この3つの要素が必要になります。

①現在の大気の散乱度合いの計測は投光部から光を受光部方向に発射し、その間にある霧粒などによって前方に散乱された光を受光部で受信することで行っています。(写真1)

②周辺の明るさの計測は背景輝度測定器という機械を設置し、レンズ面に入る光の強さから測定しています。(写真2)

③滑走路灯火の光度設定については、灯火卓信号を受信しています。RVR はパイロットが滑走路灯火を視認できる距離を表しているため、現在の灯火の明るさも計算に必要な要素となります。同じ気象条件でも、灯火が明るければより遠くから見え、暗ければ見える距離は短くなるためです。

これら3要素を加味して RVR を観測しています。

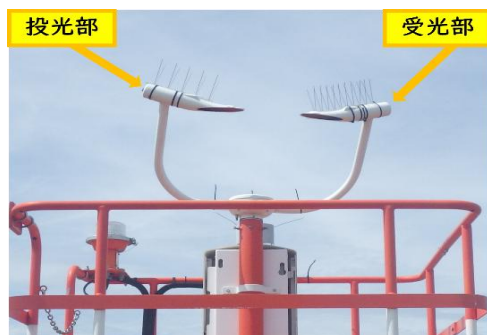


写真1 投光部と受光部



写真2 背景輝度測定器

- 7月14日に発生した障害事例について

2026年7月14日、関西国際空港のRVR観測が停止した事例がありました。原因は蜘蛛が投光部のレンズ面に巣を張り、正常に大気の散乱度合いが計測できなくなったことによるものです。(写真3)

機器の性質上屋外への設置が必須であり、関西航空地方気象台職員が定期的にメンテナンスを実施していますが、虫等の外的要因による障害への完全な対策は困難な状況です。鳥対策として、投光部、受光部上に鳥よけスパイクを設置しており、今回の事例を受け蜘蛛除け剤を塗布し対策を強化しています。

また、海上空港に設置されていることから、潮風による塩分や汚れの付着が生じやすいため、レンズ清掃をはじめとするきめ細かな保守・点検を継続的に実施し、観測品質の維持に努めています。



写真 3-1 正常な投光部レンズ面



写真 3-2 蜘蛛の巣が張られた投光部レンズ面

関空島の8月の極値・順位値の更新

8月の極値と順位値の更新状況は以下の URL のページを参照ください。

https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/view/rank_a.php?prec_no=62&block_no=1471&year=2026&month=08&day=&view=

関空島の8月の観測結果

気象庁ホームページでは、関西国際空港（アメダス・関空島）の観測データをご確認頂くことができます。以下の URL のページをご覧ください。

気象庁ホームページ：関空島（大阪府）2026年8月

https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/view/daily_a1.php?prec_no=62&block_no=1471&year=2026&month=8&day=&view=

関空島 WEATHER REPORT で使用する航空気象に関する用語の解説

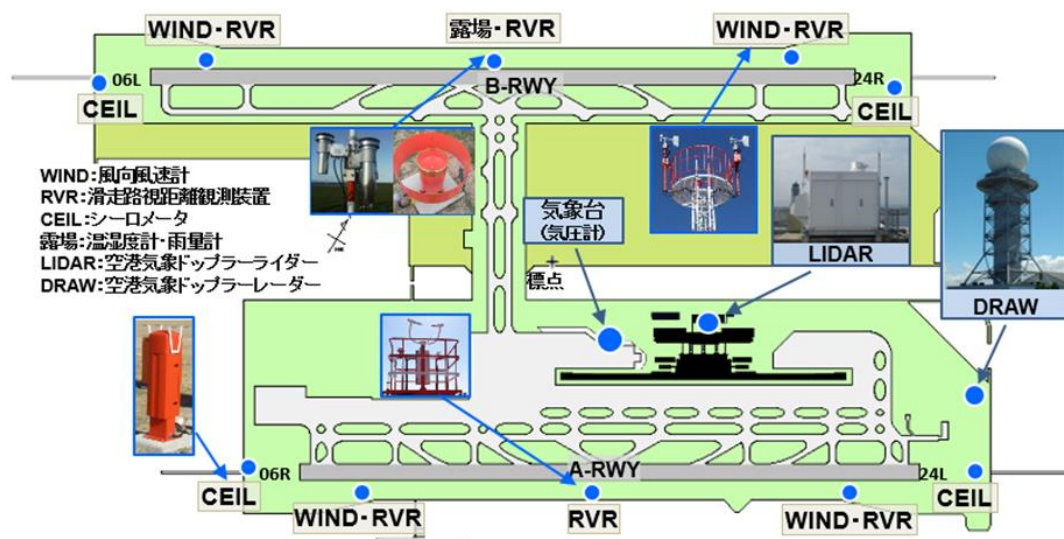
気象観測施設の配置とデータ利用について

気象観測施設は、関空島の A-RWY(3500m)と B-RWY(4000m) 周辺に配置した屋外観測装置と、当台気象観測室(航空庁舎ペントハウス)に設置した気象観測報の作成、配信等の処理を行う屋内観測装置で構成する。

屋外観測装置からのデータは屋内観測装置に表示し、METAR-AUTO 報として 10 分毎に自動配信するとともに、屋上で行う目視による観測とあわせて航空観測気象報(METAR 報、SPECI 報)で配信する。

また、日本時間の 23 時 00 分～翌日 05 時 59 分の間は、全要素とも自動観測・自動判別結果を用いた METAR/SPECI 報(以下「自動 METAR/SPECI 報」という。)を通報する。自動 METAR/SPECI 報で通報する視程や雲、現在天気は目視観測とは異なる特性・特徴を持っている。

航空観測気象報で通報する風は「06L」の観測値である。障害等で「06L」が使用できない時は「06R、24R、24L」の順に代用して通報し、RMK に使用した風向風速計名を記載する(例: WIND BY EQPT/06R)。



関空島内の気象観測機器配置状況